



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1997, 68(1):
131-131

ISSUE DATE:

1997-04-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/96009>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成9年4月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第68巻 第1号

ISSN 0525-2997

vol.68 no.1

物性研究

1997 / 4

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討議しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文の中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 63 (1994), 1. のように引用して下さい。

原稿作成要領

1. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
2. 別刷ご希望の方は、投稿の際に50部以上10部単位で、必要部数、別刷送付先、請求先を明記の上、お申し込み下さい。
3. **ワープロ原稿の場合**
ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。（特に希望される場合には、こちらでタイプし直すことも可能ですが、経費の節約のため、できるだけ写真製版できる原稿をお願いします。）
 - 1) 用紙はB5またはA4を縦に使用。（印刷はB5になります。）
 - 2) マージンは、上下あわせて約4.5cm、左右あわせて約4cm。
 - 3) 1ページに本文34行、1行に全角文字で42字。
 - 4) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、余白を十分にとって下さい。
 - 5) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 6) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
4. **手書き原稿の場合**
 - 1) 原稿は400字詰原稿用紙に丁寧に書いて下さい。
 - 2) 数式は大きく明瞭に書き、1行におさまらない場合の改行箇所を赤で指定して下さい。
 - 3) 数式、記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、立体（□）、イタリック（*—*）、ゴシック（**—**）、ギリシャ文字（ γ ）、花文字、大文字、小文字などを赤で指定して下さい。本誌は立体を基本としてタイプされますので、式にも必ず、イタリック、立体を指示して下さい。また、著者校正はありませんので、特に区別しにくい文字や記号なども赤で指定して下さい。
 - 4) 図は写真製版できるもの（こちらではトレースはいたしません。）を図の説明と共に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討議しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文の中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 63 (1994), 1. のように引用して下さい。

原稿作成要領

1. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
2. 別刷ご希望の方は、投稿の際に50部以上10部単位で、必要部数、別刷送付先、請求先を明記の上、お申し込み下さい。
3. **ワープロ原稿の場合**
ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。（特に希望される場合には、こちらでタイプし直すことも可能ですが、経費の節約のため、できるだけ写真製版できる原稿をお願いします。）
 - 1) 用紙はB5またはA4を縦に使用。（印刷はB5になります。）
 - 2) マージンは、上下あわせて約4.5cm、左右あわせて約4cm。
 - 3) 1ページに本文34行、1行に全角文字で42字。
 - 4) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、余白を十分にとって下さい。
 - 5) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 6) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
4. **手書き原稿の場合**
 - 1) 原稿は400字詰原稿用紙に丁寧に書いて下さい。
 - 2) 数式は大きく明瞭に書き、1行におさまらない場合の改行箇所を赤で指定して下さい。
 - 3) 数式、記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、立体（□）、イタリック（*—*）、ゴシック（**—**）、ギリシャ文字（ γ ）、花文字、大文字、小文字などを赤で指定して下さい。本誌は立体を基本としてタイプされますので、式にも必ず、イタリック、立体を指示して下さい。また、著者校正はありませんので、特に区別しにくい文字や記号なども赤で指定して下さい。
 - 4) 図は写真製版できるもの（こちらではトレースはいたしません。）を図の説明と共に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。

編集後記

ものの本に「人は最初 宗教に傾き、やがてそれを脱して芸術を愛で、ついにいずれをも離れて厳密な認識に価値をおく」(「人間的、あまりに人間的 I」、ちくま文庫より) というような事が書かれていました。

かたや、あるバクテリア研究者の言うには、「凡庸な bacteriologist はモデルを提唱し、一流はモデルでなく事実に語らせ、超一流は再びモデルを語る」のだそうです。

人はその関心の範囲に応じて自らをとりまく世界を理解したいという本能をもち、その追求の3形態を上のように表現できるのかもしれない、などというのめちゃちなモデルでしょうか。

かようなごたくで編集後記を埋めてはいけませんが...

「物性研究」は改めて述べるまでもなく、狭い意味の学術論文・報告に加え、研究および研究者コミュニティーのあり方についての投稿も掲載しています。それらが我々をとりまく世界の理解にプラスになるよう希望しています。

(K. S.)

[物性研究]

発行人	村瀬 雅俊	(京大・基研)
編集長	村瀬 雅俊	(京大・基研)
編集委員	池田 隆介	(京大・理・物理)
	小嶋 泉	(京大・数研)
	関本 謙	(京大・基研)
	武末 真二	(京大・総合人間)
	水口 毅	(京大・理・物理)
	八尾 誠	(京大・理・物理)
	山田 耕作	(京大・理・物理)
	吉村 一良	(京大・理・化学)
各地編集委員	津田 一郎	(北大・理・数学)
	本堂 毅	(東北大・理・物理)
	佐々 真一	(東大・教養・基礎科第一)
	初貝 安弘	(東大・工・物理工学)
	堀田 貴嗣	(東大・物性研)
	平田 隆幸	(筑波大・物理工学系)
	山田 鏑二	(信州大・理・物理)
	平田 文男	(分子科学研)
	大野 義章	(名大・理・物理)
	池田 研介	(立命館大・理工・物理)
	宮下 精二	(阪大・理・宇宙地球)
	松井 淳	(九大・理・物理)
	末崎 幸生	(佐賀医科大・物理)
	好村 滋行	(九工大・情報工)

(1997年4月現在)

物 性 研 究 第68巻第1号 (平成9年4月号) 1997年4月20日発行

発行人	村 瀬 雅 俊	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所	〒606	京都市百万遍交差点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

[物性研究]

発行人	村瀬 雅俊	(京大・基研)
編集長	村瀬 雅俊	(京大・基研)
編集委員	池田 隆介	(京大・理・物理)
	小嶋 泉	(京大・数研)
	関本 謙	(京大・基研)
	武末 真二	(京大・総合人間)
	水口 毅	(京大・理・物理)
	八尾 誠	(京大・理・物理)
	山田 耕作	(京大・理・物理)
	吉村 一良	(京大・理・化学)
各地編集委員	津田 一郎	(北大・理・数学)
	本堂 毅	(東北大・理・物理)
	佐々 真一	(東大・教養・基礎科第一)
	初貝 安弘	(東大・工・物理工学)
	堀田 貴嗣	(東大・物性研)
	平田 隆幸	(筑波大・物理工学系)
	山田 鏑二	(信州大・理・物理)
	平田 文男	(分子科学研)
	大野 義章	(名大・理・物理)
	池田 研介	(立命館大・理工・物理)
	宮下 精二	(阪大・理・宇宙地球)
	松井 淳	(九大・理・物理)
	末崎 幸生	(佐賀医科大・物理)
	好村 滋行	(九工大・情報工)

(1997年4月現在)

物 性 研 究 第68巻第1号 (平成9年4月号) 1997年4月20日発行

発行人	村 瀬 雅 俊	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所	〒606	京都市百万遍交差点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

年会費	1st Volume (4月号～9月号)	4,800円
	2nd Volume (10月号～3月号)	4,800円
		計 9,600円

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円** (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類 (請求、見積、納品書) が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より 6 ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606-01 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
電話 (075) 722-3540, 753-7051
FAX (075) 722-6339

物 性 研 究 68-1 (4月号) 目 次

○特 集

「複雑系の展望－複雑系若手の立場から」

特集「複雑系の展望－複雑系若手の立場から」について

……………橋本 敬、山口 明宏、山本 知幸…… 1

コードのダイナミクス……………橋本 敬…… 4

言語と認知……………横山 真樹…… 18

複雑現象としての経済と経済学……………江頭 進…… 39

タイル・オートマトンと生命の起源……………山本 知幸…… 53

大脳神経回路網形成に関与する遺伝子群の検索：Poly(A)⁺mRNA
fingerprinting by arbitrary primers (PRAP)法による試み

……………檀 一平太…… 64

情報処理系間の分離・統合機構としてのカオス

－多体神経回路モデルにおける－……………佐野 彰…… 79

離散化した結合写像格子……………後藤謙太郎…… 93

計算機の中のカオス……………山口 明宏…… 107

エッセイ 物(もの)性研究……………山本 知幸…… 116

(付録) 統数研研究会「動的システムの構築と記述に向けて」資料… 124

○編集後記…………… 131

物性研究 68-1 (4月号) 目次

○特集

「複雑系の展望—複雑系若手の立場から」

特集「複雑系の展望—複雑系若手の立場から」について

……………橋本 敬、山口 明宏、山本 知幸…… 1

コードのダイナミクス……………橋本 敬…… 4

言語と認知……………横山 真樹…… 18

複雑現象としての経済と経済学……………江頭 進…… 39

タイル・オートマトンと生命の起源……………山本 知幸…… 53

大脳神経回路網形成に關与する遺伝子群の検索：Poly(A)⁺mRNA
fingerprinting by arbitrary primers (PRAP)法による試み

……………檀 一平太…… 64

情報処理系間の分離・統合機構としてのカオス

—多体神経回路モデルにおける—……………佐野 彰…… 79

離散化した結合写像格子……………後藤謙太郎…… 93

計算機の中のカオス……………山口 明宏…… 107

エッセイ 物(もの)性研究……………山本 知幸…… 116

(付録) 統数研研究会「動的システムの構築と記述に向けて」資料… 124

○編集後記…………… 131